

技能五輪国際大会について

1 大会概要

技能五輪国際大会は国際的に技能を競うことにより、参加国・地域の職業訓練の振興及び技能水準の向上を図るとともに、青年技能労働者（満 22 歳以下）の国際交流と親善を目的とした大会で、1950 年（昭和 25 年）に 2 カ国（スペイン、ポルトガル）で始まった。1971 年（昭和 46 年）まで毎年開催されていたが、それ以後は原則 2 年ごとに開催されている。

1966 年には、参加国・地域の代表により技能五輪国際組織委員会（ワールド スキルズ インターナショナル）が組織され、この組織委員会の定めた規約に基づき、大会が運営されている。

我が国は、1962 年（昭和 37 年）にスペインで開催された第 11 回大会（ヒホン大会）から参加しており、1970 年（昭和 45 年）には第 19 回大会が東京で、1985 年（昭和 60 年）には第 28 回大会が大阪で、2007 年（平成 19 年）には第 39 回大会が静岡で開催された。

なお、2013 年（平成 25 年）には、ドイツ（ライプツィヒ）において開催される予定である。

（注）技能五輪国際組織委員会

技能五輪国際組織委員会（ワールド スキルズ インターナショナル）は、職業訓練の促進、技能に関する制度の情報交換の促進及び青年労働者の国際的相互理解の促進を目的として、1966 年（昭和 41 年）に非政府組織として結成され、その組織は加盟国・地域の代表により構成されている。日本からは中央職業能力開発協会が加盟している。

2 参加資格

出場する競技大会の開催年に満 22 歳以下である者（一部競技職種を除く）
各国・地域 1 職種につき 1 名または 1 組

3 競技職種

技能五輪国際組織委員会総会により定められた正式職種及び新規職種

4 開催結果状況（最近 5 回）

開催年	2003年 (平15)	2005年 (平17)	2007年 (平19)	2009年 (平21)	2011年 (平23)
開催国	第37回 スィス (ザンクトガレン)	第38回 フィンランド (ヘルシンキ)	第39回 日本 (静岡)	第40回 カタ (カカリー)	第41回 イギリス (ロンドン)
参加国・ 地域数	37	37	46	46	48
競技職種数	38	39	47	45	46
参加選手数	585 (34)	660 (36)	812 (51)	845 (45)	925 (44)

注 ()内は、日本の参加選手数

5 最近 5 回の日本選手団の成績

第 37 回 国別順位：3 位 メダル獲得数：金 6 銀 2 銅 4
 第 38 回 国別順位：1 位 メダル獲得数：金 5 銀 1 銅 2
 第 39 回 国別順位：1 位 メダル獲得数：金 16 銀 5 銅 3
 第 40 回 国別順位：3 位 メダル獲得数：金 6 銀 3 銅 5
 第 41 回 国別順位：2 位 メダル獲得数：金 11 銀 4 銅 4

（注）国別順位は金メダル獲得数の多い順